

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成22年10月18日（月）～10月24日（日）〔平成22年第42週〕の感染症発生状況

第42週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)流行性耳下腺炎でした。

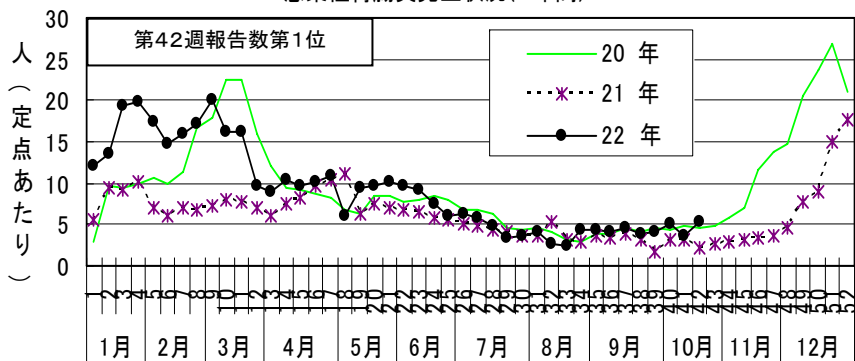
感染性胃腸炎は定点あたり5.33人と前週（3.52人）より患者報告数は増加しました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点あたり1.42人と前週（1.24人）より患者報告数は増加しました。

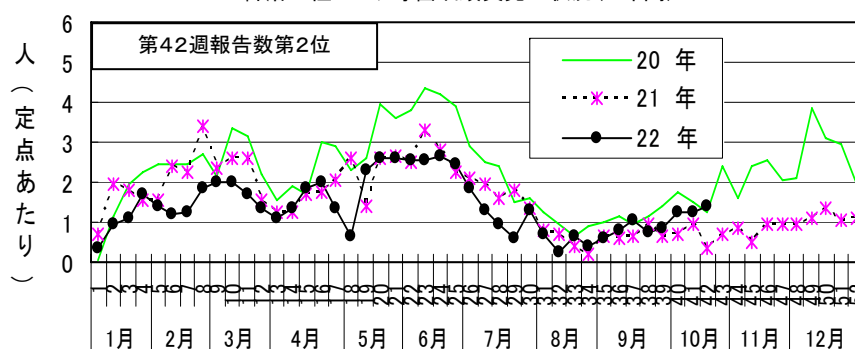
インフルエンザの報告が6件（川崎3件、宮前区1件、多摩区2件）あり、これから例年流行する冬季に入りますので注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（感染経路：経口感染、感染地域：川崎市）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



☆感染性胃腸炎が流行する冬季に備えて☆

川崎市において、第42週で感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は5.33人でした。これは平成11年以降の同時期と比較すると、平成18・19年に次いで3番目に多い報告数となっています。特に宮前区と多摩区で報告数が多くなっております。

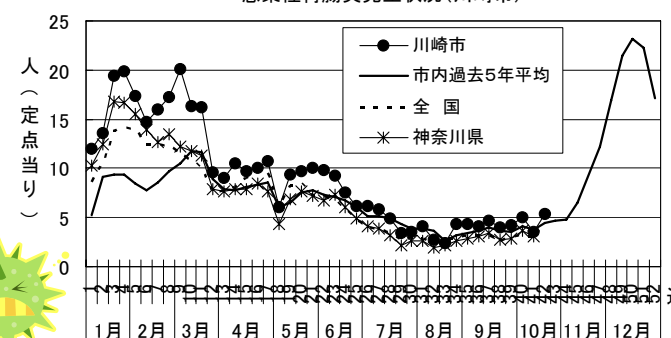
感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こりますが、秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こります。特にこれからの時期はノロウイルスによるものが増えてきます。



右のグラフは、今年の川崎市、川崎市過去5年平均、全国及び神奈川県の感染性胃腸炎患者数（定点当たり）を比較したものです。

これによると、例年この時期から12月をピークに感染性胃腸炎の患者数が増加していることが分かります。今から、感染性胃腸炎にかからないように対策を心がけましょう

感染性胃腸炎発生状況(川崎市)



ノロウイルスってどんな症状？

吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほど出ません。通常1～2日で症状はおさまります。

感染しても発症しない人や、軽いかな症状で済む人もいます。

ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなるなどの危険があり、油断は禁物です。



～みんなで防ごう！ノロウイルス対策！！～

- ① 二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ② 患者さんの便や嘔吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。
- ③ 便や汚物を放置してしまうと、乾燥して空気中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者さんの便やおむつ、吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。
- ④ また、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。